

4 学年 後期 学習内容と評価規準

後期の学習内容と学校が評価をするにあたっての規準の例です。

※すべてこのように評価しているわけではありませんが、これを規準にあゆみを作成しております。

【知・技】…知識及び技能の評価

【思・判・表】…思考力、判断力、表現力等の評価

【態】…主体的に学習に取り組む態度の評価

教科	単元名・教材名	評価規準
国語	どんぎつね ※漢字を正しく使おう ※秋の楽しみ	【知・技】言葉には性質による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。 【思・判・表】登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。 【態】進んで文章を読んで理解したことに基づいて感想をもち、学習の見通しをもって、物語の結末についての感想を書こうとしている。
	クラスみんなで決めるには	【知・技】比較や分類のしかた、必要な語句などの書き留め方を理解し使っている。 【思・判・表】目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。 【態】積極的に役割を果たしながら話し合い、学習課題に沿って、考えをまとめようとしている。
	未来につなぐ工芸品 工芸品ののみよくを伝えよう ※慣用句 ※短歌・俳句に親しもう ※漢字の広場④	【知・技】事典の使い方を理解し使っている。幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。 【思・判・表】自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約している。 【態】積極的に、中心となる語や文を見つけて要約したり、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫したりして、学習の見通しをもって、調べて分かったことをまとめて書こうとしている。
	友情のかべ新聞	【知・技】幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。 【思・判・表】登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。 【態】積極的に登場人物の気持ちの変化や性格について、場面の移り変わりと結び付けながら想像して読み、学習の見通しをもって、おもしろいと思ったところを伝え合おうとしている。
	もしものときにそなえよう ※冬の楽しみ	【知・技】考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。 【思・判・表】自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。 【態】積極的に自分の考えとそれを支える理由や事例を明確にし、学習の見通しをもって、調べて考えたことを文章に書こうとしている。
	自分だけの詩集を作ろう ※言葉から連想を広げて ※熟語の意味 ※漢字の広場⑤	【知・技】幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。 【思・判・表】相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。詩を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。 【態】進んで目的を意識して詩を選び、学習の見通しをもって、自分だけの詩集を作ろうとしている。
	風船でうちゅうへ	【知・技】様子や行動を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。 【思・判・表】文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。 【態】進んで、文章を読んで理解したことに基づいて感想や考えをもち、学習課題に沿って、要約して紹介する文章を書こうとしている。
	つながりに気をつけよう	【知・技】主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割について理解している。 【思・判・表】間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認めたりして、文や文章を整えている。 【態】進んで、主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割について理解し、これまでの学習をいかして、つながりに気をつけて文章を書こうとしている。
	心が動いたことを言葉に	【知・技】様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や詩の中で使い、語彙を豊かにしている。主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、連の役割について理解している。 【思・判・表】書こうとしたことが明確になっているかなど、詩に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。 【態】進んで感想を伝え合い、これまでの学習をいかして、心が動いたことを言葉にして書いた詩を読み合っている。
	調べて話そう、生活調査隊	【知・技】相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。 【思・判・表】目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えている。話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。 【態】進んで、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫し、これまでの学習をいかして、調査の報告をしようとしている。
	スワンレイクのほたりで ※漢字の広場⑥ ※4年生を振り返って	【知・技】様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。 【思・判・表】登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。 【態】進んで一人一人の感じ方に違いがあることに気づき、学習の見通しをもって、物語を読んで考えたことを伝え合おうとしている。
書写	ひらがなの筆使い ひらがな(おれ) ノートの達人になろう 書写を広げたい①② 漢字どうしの大きさ 書初め 四年生のまとめ	画(左払い)の方向を理解し、形を整えて書いている。 毛筆を使用して、平仮名の筆使い(折れ)への理解を深め、筆圧などに注意して書いている。 漢字や仮名の大きさ、配列(行の中心と字間)に注意して書いている。 漢字や仮名の大きさ、配列(横書き)に注意して書いている。 漢字どうしの大きさに注意して書いている。 漢字や仮名の大きさ、配列(行の中心や字間)に注意して書いている。

教科	単元名・教材名	評価規準
社会	昔から今に続くまちづくり アイヌ文化	【知・技】地域の発展に尽くした先人は、様々な苦心や努力により当時の生活の向上に貢献したことを理解している。 【思・判・表】地域の発展に尽くした先人の具体的事例を捉え、先人の働きを考え、表現している。 【態】先人の働きについて、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。
	自然災害にそなえるまちづくり 1. 地震、津波の被害 2. 地震、津波にそなえる	【知・技】地域の関係機関や人々は、自然災害に対し、様々な協力をして対処してきたことを理解している。 【思・判・表】地域で起こり得る災害を想定し、日頃から必要な備えをするなど、自分たちにできることを考えたり選択・判断したりして表現している。 【態】学習したことをもとに地域で起こり得る災害を想定し、日頃から必要な備えをするなど、自分たちにできることを考えようとしている。
	地域で受けつがれてきたもの 1. わたしたちのまちのまつり 2. まちに伝わる昔	【知・技】まつり参加する全員が一緒になって楽しむ特別な行事であることを理解するとともに、祭りの発展には、様々な人々の工夫や努力があったことを理解している。 【思・判・表】文化財や年中行事の保存や継承に関わって、自分が協力できることを考えたり学習したことの中から選択・判断したりして、発表している。 【態】市内にある文化財や年中行事について調べるための学習問題をつくり学習計画を立て主体的に問いを追究しようとしている。
	昔から今に続くまちづくり 開拓の歴史	【知・技】地域の発展に尽くした先人は、様々な苦心や努力により当時の生活の向上に貢献したことを理解している。 【思・判・表】地域の発展に尽くした先人の具体的事例を捉え、先人の働きを考え、表現している。 【態】先人の働きについて、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。
	わたしたちの北海道とまちづくり	【知・技】特色ある地域では、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解している。 【思・判・表】特色ある地域の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、地域の様子を捉え、それらの特色を考え、表現している。 【態】特色ある地域の様子について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

算数	式と計算の順じょ	【知・技】四則の混合した式や()を用いた式について理解し、正しく計算したり、四則に関して成り立つ性質を使って工夫して計算したりすることができる。 【思・判・表】交換法則、結合法則、分配法則を用いて計算の工夫の仕方を考えたり、式から具体的な場面や思考の筋道をよみとったりしている。 【態】()を使った式とその計算に進んで関わり、ふり返りを通して場面や考え方を式に表せることや四則に関して成り立つ性質のよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	割合 ※そろばん ※ふく習	【知・技】複数の事象の数量の関係を比べるとときに割合を用いるとよい場合があることを理解している。 割合、比べる量、もとにする量を求めることができる。 【思・判・表】日常の事象における数量の關係に着目し、割合を用いて比べたり、割合、比べる量、もとにする量の求め方を考えたりしている。 【態】割合の学習に進んで関わり、ふり返りを通して数量の関係を割合で表すことや何倍になるかをまとめて考えることのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	面積	【知・技】面積の単位についてや長方形や正方形の面積の公式について理解し、長方形や正方形の面積を求めることができる。 【思・判・表】図形を構成する要素に着目して正方形および長方形の面積の求め方を考えたり、長さの単位をもとに面積の単位の間隔を調べたりしている。 【態】長方形や正方形の面積を求める活動に進んで取り組み、ふり返りを通して面積の求め方や公式のよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	がい数とその計算 ※見方・考え方を深めよう	【知・技】概数が用いられる場合や四捨五入について理解し、身のまわりの数量を概数で表したり、概数を使って四則計算の結果を見積もったりすることができる。 【思・判・表】目的に応じて、概数の表し方を考えたり、概算の仕方を工夫したりしている。 【態】概数や概算に進んで関わり、ふり返りを通して概数に表したり概算したりすることのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	小数のかけ算とわり算 ※どんな計算になるのかな ※だれでしょう ※ふく習	【知・技】(小数)×(整数)や(小数)÷(整数)の計算の意味やその仕方を理解し、(小数)×(整数)や(小数)÷(整数)の計算ができる。 【思・判・表】(小数)×(整数)や(小数)÷(整数)の計算の意味やその仕方について、整数の場合をもとにしたり、小数の仕組みや計算のきまりなどをもとにしたりして考えている。 【態】(小数)×(整数)や(小数)÷(整数)の計算に進んで関わり、ふり返りを通して整数の場合や小数の仕組みをもとにして考えることのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	調べ方と整理の仕方 ※見方・考え方を深めよう	【知・技】2つの観点からの情報を二次元の表で整理できることを知っている。 【思・判・表】2つの観点からの情報を二次元の表に整理している。 【態】いろいろな情報を、二次元の表などに整理して、考えようとしている。
	分数 ふく習	【知・技】仮分数や帯分数の意味を理解し、仮分数を帯分数に直したり帯分数を仮分数に直したりすることができる。また、それらの大小比較や加減計算をすることができる。 【思・判・表】単位分数の何個分かに着目し、分数の表し方や同分母分数の加減計算の仕方を考えている。 【態】分数に進んで関わり、ふり返りを通して単位分数の何個分かに着目することのよさや分数で表すことの意義に気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	変わり方	【知・技】伴って変わる2つの数量の関係を、表やグラフに整理したり、○や△の式に表したりすることができる。 【思・判・表】伴って変わる2つの数量の関係を表に整理して、変化や関係の特徴を考えている。 【態】伴って変わる2つの数量の関係に進んで関わり、ふり返りを通して表やグラフに数量の関係を整理したり式に表したりすることのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	直方体と立方体 ※わくわくプログラミング ※もうすぐ5年生	【知・技】直方体や立方体の意味やその特徴について理解し、展開図・見取図をかいたり、直線や平面の平行・垂直の関係を調べたりすることができる。また、平面や空間における位置の表し方についても理解している。 【思・判・表】直方体や立方体の構成要素やそれらの位置関係に着目し、直方体や立方体の特徴や展開図・見取図のかき方を考えている。 【態】直方体や立方体の考察、位置の表し方に進んで関わり、ふり返りを通して立体図形の構成要素やその位置関係に着目することや位置を数値で表すことのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。

教科	単元名・教材名	評価規準
理 科	自然の中の水のすがた	【知・技】水は、水面や地面などから蒸発し、水蒸気になって空気中に含まれていくこと、また、空気中の水蒸気は、結露して再び水になって現れることがあることを理解している。 【思・判・表】自然界の水の様子について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 【態】自然界の水の様子について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
	すずしくなると	【知・技】動物の活動は、あたたかい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。植物の成長は、あたたかい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。 【思・判・表】身近な動物や植物について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 【態】身近な動物や植物についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。
	とじこめた空気と水	【知・技】閉じ込めた空気をおすと、体積は小さくなるが、おし返す力は大きくなることを理解している。閉じ込めた空気はおし締められるが、水はおし締められないことを理解している。 【思・判・表】空気と水の体積やおし返す力の変化とおす力との関係について、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 【態】空気と水の体積やおし返す力の変化とおす力との関係について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
	物の体積と温度	【知・技】金属、水及び空気は、あたためたり冷やしたりすると、それらの体積が変わるが、その程度には違いがあることを理解している。 【思・判・表】金属、水及び空気の体積と温度との関係について、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 【態】金属、水及び空気の体積と温度との関係について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
	物のあたたまり方 ※冬の星	【知・技】金属は熱せられた部分から順にあたたまるが、水や空気は熱せられた部分が移動して全体があたたまることを理解している。金属、水及び空気のあたたまり方について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 【思・判・表】金属、水及び空気のあたたまり方について、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 【態】金属、水及び空気のあたたまり方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
	寒くなると	【知・技】動物の活動は、あたたかい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。植物の成長は、あたたかい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。 【思・判・表】身近な動物や植物について、観察などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 【態】身近な動物や植物についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。
	水のすがたと温度	【知・技】水は、温度によって水蒸気や氷に変わることで、また、水が氷になると体積が増えることを理解している。温度を変化させたときの水の体積や状態の変化について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 【思・判・表】温度を変化させたときの水の体積や状態の変化について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。温度を変化させたときの水の体積や状態の変化について、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 【態】温度を変化させたときの水の体積や状態の変化についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。
	生き物の1年を振り返って	【知・技】動物の活動は、あたたかい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。植物の成長は、あたたかい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。 【思・判・表】身近な動物や植物について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 【態】身近な動物や植物についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。

音 楽	かけ合いと重なり ※につぼんのうたみんなのうた	【知・技】曲想と、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりに気付いている。 【思・判・表】音色、呼びかけとこたえ、音の重なり、旋律、反復、変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見いだし、曲全体を味わって聴いている。 【態】楽器の響きやかけ合いなどの面白さを捉えて聴く学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
	日本と世界の音楽 ※音のスケッチ	【知・技】思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能や、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けている。 【思・判・表】旋律や音色、リズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するか、まとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったり、音楽のよさを見いだし、味わって聴いたりしている。 【態】我が国や諸外国に伝わるいろいろな音楽の特徴や、人々の暮らしとの関わりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
	パートの役わり ※音楽ランド	【知・技】曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりに気付いている。 【思・判・表】フレーズや音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 【態】曲想や声部の役割を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
	音楽のききどころ	【知・技】曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりに気付いている。 【思・判・表】音色、旋律、反復、変化、強弱、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見いだし、曲全体を味わって聴いている。 【態】曲想とその変化を捉えて聴く学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
	思いに合った表げん 選択 歌唱 ※音のスケッチ	【知・技】思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴き、声を合わせて歌う技能を身に付けている。 【思・判・表】音色や旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【態】声を合わせて歌うことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

教科	単元名・教材名	評価規準
図工	全単元を通して	【態】つくりだす喜びを味わい進んで学習活動に取り組もうとしている。
	のこぎりギコギコ	【知・技】木を思いのままに切ったり組み合わせたりするときの感覚や行為を通して、形の感じ、形の組合せによる感じなどが分かる。 【思・判・表】木を切ったり組み合わせたりして感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。
	光とかげから生まれる形	【知・技】材料を組み合わせたり、光の当て方を試したりしながら影の形をつくるときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどが分かっている。 【思・判・表】形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、身近な材料や影の形や色などを基に造形的な活動を思い付き、新しい形や色などを思い付きながら、どのように活動するかについて考えている。
	おもしろだんボールボックス	【知・技】段ボール箱を適切に扱うとともに、カッターナイフ、段ボールカッター、水彩絵の具、接着剤などについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 【思・判・表】形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、段ボール箱の形から感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、用途などを考え、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。
	きって楽しいきつと使える	【知・技】のこぎりで切った木を組み合わせ、生活で使えるものをつくるときの感覚や行為を通して、形や色の感じ、それらの組合せによる感じなどが分かる。 【思・判・表】切った木を組み合わせ、感じたことや使うことを想像したことから、表したいことを見付け、用途を考え、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。
	ねん土の板を立ち上げて	【知・技】板状にした粘土の形を生かして、大きく立ち上がる形を表すときの感覚や行為を通して、形の感じ、形の組合せによる感じなどが分かる。 【思・判・表】粘土を立ち上げながら感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、形や材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。自分たちの作品などの造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。
	幸せを運ぶカード	【知・技】気持ちを伝えるカードを、飛び出す仕組みを使ってつくるときの感覚や行為を通して、形や色などの感じが分かる。 【思・判・表】仕組みを動かして感じたことや、伝えたいことから、表したいことを見付け、用途を考え、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。
	写真をとったら見えてきた	【知・技】身の回りにあるものをいつもと違う見方で見て、写真に撮るときに感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどが分かる。 【思・判・表】身の回りにあるものの造形的なよさや面白さなどについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。
	ほってすって見つけて	【知・技】彫刻刀を適切に扱うとともに、版画の用具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 【思・判・表】形の感じ、形の組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、彫刻刀で板を彫って感じたことや、生活の中で感じたことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。
	ほってすって見つけて	【知・技】彫刻刀を使って、彫り方を試したり、刷って確かめたりするときの感覚や行為を通して、形の感じ、形の組合せによる感じなどが分かる。 【思・判・表】彫刻刀で板を彫って感じたことや、生活の中で感じたことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。
	ゴムでゴー！ゴー！ 夢の乗り物	【知・技】ゴムの力を使って、走らせて楽しむ車をつくるときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどが分かる。 【思・判・表】車が走る様子を想像したことや仕組みを動かして感じたこと、見たことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。

教科	単元名・教材名	評価規準
体 育	体づくり運動	【知・技】・体ほぐしの運動の行い方がわかる。手軽な運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことを通して、自己や友達のと心と体の状態に気付いたり、みんなで豊かに関わり合ったりすることができる。 【思・判・表】自己の課題を見付け、その課題を解決するために、様々な運動の行い方を選んだり、友達と一緒に工夫したりしている。新たな運動の行い方を考えたり、友達と動きを合わせたりして、自分の力に合った動き方を選んでいる。基本的な動きを身に付けるための運動のポイントや行い方、心と体の変化について、気づいたり考えたりしたことを友達に伝えている。 【態】多様な動きをつくる運動に進んで取り組んでいる。きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。友達の考えを認めたり、互いの気持ちを尊重し合ったりしようとしている。
	幅跳び	【知・技】・5～7歩程度のリズムカルな助走から踏み切り足を決めて前方に強く踏み切り、遠くへ跳ぶことができる。 【思・判・表】走り幅跳びのポイントについて見合ったり、教え合ったりし、遠くに跳ぶための練習方法の中から、自分の力に合った練習方法や練習の場を選んでいる。 【態】互いの動きを見合ったり、動きのよさや課題を伝え合ったりするなどの際に、友達の考えを認めている。
	鉄棒	【知・技】鉄棒運動のいろいろな技の行い方がわかる。自分の力に合った支持系の基本的な技をすることができる。 ○前回り下り(発展技:前方支持回転) ○かかえ込み前回り(発展技:前方支持回転) ○転向前下り(発展技:片足踏み越し下り) ○膝掛け振り上がり(発展技:膝掛け上がり) ○前方片膝掛け回転 ○補助逆上がり(発展技:逆上がり) ○かかえ込み後ろ回り(発展技:後方支持回転) ○後方片膝掛け回転 ○両膝掛け倒立下り 【思・判・表】技のできばえを振り返って、自分の課題を見付けている。自分の課題を解決するために、自分の力に合った練習の場を選んでいる。見付けたポイントや友達の技のできばえなど、課題解決のために考えたことを友達に伝えている。 【態】鉄棒運動の基本的な技に進んで取り組んでいる。鉄棒などの器械・器具の正しい使い方や試技をする前の待ち方、技を観察するときなどのきまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。互いの動きを見合ったり補助をし合ったりして、技がうまくできたときの動き方や気付いたことなどを伝え合う際に、友達の考えを認めている。
	小型ハードル走	【知・技】小型ハードル走の行い方がわかる。インターバルの距離やいろいろな小型ハードルの高さに応じて調子よく小型ハードルを走り越すことができる。一定の間隔に並べられた小型ハードルを一定のリズム(3歩のリズム)で走り越すことができる。 【思・判・表】小型ハードル走のポイントがわかり、自分の課題を見付けている。小型ハードル走のポイントについて見合ったり、教え合ったりしている。 【態】小型ハードル走に進んで取り組んでいる。きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。使用する用具の準備や片付けを友達と一緒にしている。勝敗を受け入れている。互いの動きを見合ったり、動きのよさや課題を伝え合ったりするなどの際に、友達の考えを認めている。
	ティーボール	【知・技】ティーボールの行い方がわかる。ボールをフェアグラウンド内に打つことができる。投げる手と反対の足を一步前に踏み出してボールを投げるができる。向かってくるボールの正面に移動することができる。ベースに向かって全力で走り、かけ抜けることができる。 【思・判・表】攻め方や守り方の簡単な作戦を話し合ったり決めたり、選んだりしている。課題の解決のために考えたことを動作や言葉、絵図などで友達に伝えている。 【態】ティーボールに進んで取り組んでいる。規則を守り、誰とでも仲よくしている。使用する用具などの準備や片付けを、友達と一緒にしている。勝敗を受け入れている。互いに動きを見合ったり、話し合ったりして見付けた動きのよさや課題を伝え合う際に、友達の考えを認めている。
	高跳び	【知・技】走り高跳びの行い方がわかる。3～5歩程度のリズムカルな短い助走から踏み切り足を決めて上方に強く踏み切り、高く跳ぶことができる。膝を柔らかく曲げて、足から着地することができる。 【思・判・表】走り高跳びのポイントがわかり、自分の課題を見付けている。走り高跳びのポイントについて見合ったり、教え合ったりし、高く跳ぶための練習方法の中から、自分の力に合った練習方法や練習の場を選んでいる。 【態】走り高跳びに進んで取り組んでいる。きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。使用する用具の準備や片付けを友達と一緒にしている。
	リズムダンス	【知・技】リズムダンスの行い方がわかる。 【思・判・表】友達とお互いの動きを見合い、課題の解決のために工夫して考えた動きと一緒に踊るなどして伝えている。 【態】リズムダンスに進んで取り組んでいる。リズムダンスに取り組む際に、誰とでも仲よくしている。
	ポートボール	【知・技】ボールを持ったときにゴールに体を向けることができる。味方にボールを手渡ししたり、パスを出したり、シュートをしたりすることができる。ボール保持者と自分の間に守る者がいない空間に移動することができる。 【思・判・表】得点を多くあげるために、シュートにつながる簡単な作戦を話し合ったり決めたり、選んだりしている。 【態】規則を守り、誰とでも仲よくしている。使用する用具などの準備や片付けを、友達と一緒にしている。勝敗を受け入れている。互いに動きを見合ったり、話し合ったりして見付けた動きのよさや課題を伝え合う際に、友達の考えを認めている。
	スキー	【知・技】斜面で横切るように滑ったり、曲がったり、止まったりしている。ブルークボーゲン・ブルークターン、斜滑降。運動の行い方を知るとともに、用語を理解している。「山側」「谷側」「フォールライン」など 【思・判・表】自己の能力に適した課題を見付け、動きを身に付けるための活動を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えている。 【態】運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲良く運動したり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に気を付けたりしている。
	ソフトバレーボール	【知・技】いろいろな高さのボールを片手、両手をでキャッチしたり、パスをしたり、ねらったところに打ったりすることができる。相手コートから飛んできたボールを片手、両手を使ってキャッチし、相手コートに返球することができる。ボールの方向に体を向けたり、ボールの落下点やボールを操作しやすい位置に移動したりすることができる。 【思・判・表】得点を多くあげるための簡単な作戦を話し合ったり決めたり、選んだりしている。 【態】キャッチバレーに進んで取り組んでいる。規則を守り、誰とでも仲よくしている。使用する用具などの準備や片付けを、友達と一緒にしている。勝敗を受け入れている。互いに動きを見合ったり、話し合ったりして見付けた動きのよさや課題を伝え合う際に、友達の考えを認めている。
	跳び箱運動	【知・技】跳び箱運動のいろいろな技の行い方がわかる。自分の力に合った切り返し系(開脚跳びなど)や回転系(台上前転など)の基本的な技をすることができる。 ○開脚跳び(発展技:かかえ込み跳び) ○台上前転(発展技:伸膝台上前転) ○首はね跳び(発展技:頭はね跳び) 【思・判・表】技のできばえを振り返って、自分の課題を見付けている。自分の課題を解決するために、自分の力に合った練習の場を選んでいる。見付けたポイントや友達の技のできばえなど、課題解決のために考えたことを友達に伝えている。 【態】跳び箱運動の基本的な技に進んで取り組んでいる。跳び箱、踏み切り版などの器械・器具の正しい使い方や試技をする前の待ち方、技を観察するときなどのきまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。器械・器具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。互いの動きを見合ったり補助をし合ったりして、技がうまくできたときの動き方や気付いたことなどを伝え合う際に、友達の考えを認めている。
	保健「体の成長とわたし」 (2)思春期にあらわれる変化 (3)よりよく成長するための生活	【知・技】体が年齢に伴って変化すること、体の発育・発達には個人差があること、思春期になると体に変化が起こり、異性への関心も芽生えること、体の発育・発達には適切な運動、食事、休養および睡眠が必要であることを理解している。 【思・判・表】体の発育・発達に関わることから課題を見付け、体のよりよい発育・発達を目指す視点から、適切な方法を考え、それを伝えている。 【態】学習活動に粘り強く取り組む中で、体が発育・発達することやその大切さに気づき、年齢による発育・発達の仕方や、発育・発達に良い生活の仕方についての学習活動に進んで取り組もうとしている。